

(参考資料5)

中国産中間種苗由来養殖カンパチのアニサキス幼虫寄生実態調査結果

A県（ランダムサンプリング）

寄 生 尾 数	部位別アニサキス寄生匹数（平均）									
	胃外部		胃内部	腹腔壁	腸	幽門垂	脾臓	腎臓	筋肉	合計
	膜外	膜内								
60	22.9	20.6	0.2	0.4	3.5	0.4	0	0	0	48.1

※検査尾数：244尾

A県（高水温試験）

寄 生 尾 数	部位別アニサキス寄生匹数（平均）									条件
	胃外部		腹腔壁	腸	幽門垂	肝臓	脾臓	筋肉	合計	
	膜外	膜内								
10	28.8	19.2	0.7	4	1.9	0.1	0	0	54.7	A
9	21	21.1	1.4	3.3	2.9	0	0	0	49.8	B
8	22.2	21.2	0.2	1.7	0	0	0	0	45.3	C
10	25.1	20.9	0.6	4.7	1.2	0	0	0	52.5	D
7	27.1	27	3.7	8.3	0.4	0	0	0	66.6	E
10	41.2	23	0.3	5.6	0.4	0	0.1	0	70.6	F
9	32.4	29.4	2	10.8	0	0	0	0	74.7	G
8	35.4	25.3	0.5	8.1	0.1	0	0	0	69.4	H
10	31	24.4	2	5.8	0.4	0.1	0	0	63.7	I

※検査尾数90尾（うち寄生尾数82尾）

（条 件）

A: イニシャル

B: 水温28℃で10日間飼育を行い、脱血、活け締め後、4℃で3日間保存後に検査

C: 水温28℃で24日間飼育を行い、脱血、活け締め後、4℃で3日間保存後に検査

D: 水温25℃で10日間飼育を行い、脱血、活け締め後、4℃で3日間保存後に検査

E: 水温25℃で24日間飼育を行い、脱血、活け締め後、4℃で3日間保存後に検査

F: 水温18℃で10日間飼育を行い、脱血、活け締め後、4℃で3日間保存後に検査

G: 水温18℃で24日間飼育を行い、脱血、活け締め後、4℃で3日間保存後に検査

H: 水温自然海水で10日間飼育を行い、脱血、活け締め後、4℃で3日間保存後に検査

I: 水温自然海水で24日間飼育を行い、脱血、活け締め後、4℃で3日間保存後に検査

B県（ランダムサンプリング）

寄 生 尾 数	部位別アニサキス寄生匹数（平均）									
	膜外部	胃内部	腹腔壁	腸	幽門垂	肝臓	脾臓	腎臓	筋肉	合計
9	46	0	0	0	0	0	0.1	0	0	46.1

※調査尾数94

C県（放置後の調査）

検査尾数	部位別アニサキス寄生匹数（平均）					条件
	内臓周辺	腹腔壁	筋肉	その他	合計	
7	38.1	0	0.1	0	38.3	A
4	63.3	0	0	0	63.3	B
2	71.5	0	0	0	71.5	C
4	42.5	0	0	0	42.5	D
3	47	0	0	0	47	E
4	18.5	0.3	0	0	18.8	F
2	55	0	0	0	55	G
3	74	0	0	0	74	H
3	73.3	0.3	0	0	73.7	I
4	65	0.3	0	0	65.3	J
3	59.3	0	0	0	59.3	K
2	46	0	0	0	46	L
2	50.5	0	0	0	50.5	M
4	33	0	0	0	33	N
4	32.2	0	0	0	32.2	O
3	46	0	0	0	46	P
5	43.4	0	0	0	43.4	Q

※調査尾数90尾（うち寄生尾数82尾）

（条件）

- A: 活け締め直後
- B: 氷冷で 3時間放置
- C: 14℃で 3時間放置
- D: 氷冷で 6時間放置
- E: 14℃で 6時間放置
- F: 氷冷で 12時間放置
- G: 14℃で 12時間放置
- H: 氷冷で 24時間放置
- I: 14℃で 24時間放置
- J: 氷冷で 36時間放置
- K: 14℃で 36時間放置
- L: 氷冷で 48時間放置
- M: 14℃で 48時間放置
- N: 氷冷で 60時間放置
- O: 14℃で 60時間放置
- P: 氷冷で 72時間放置
- Q: 14℃で 72時間放置